

# 2022 年 生活経営学部会 夏期セミナー・総会報告 プログラム

## ご案内

以下の要領で、2022年生活経営学部会夏期セミナー（自由論題報告・公開セミナー）・総会を開催いたします。

多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

公開セミナーテーマ

コロナ禍を通して考える生活経営の再構築

日 時：2022年8月26日（金） 9：30～17：00

方 法：Zoomによるオンライン開催（日本女子大学）

参加費：無 料

\* 一般参加者（部会員以外）は公開セミナーのみ参加できます。

公開セミナーは、一般社団法人日本家政学会の活動助成を受けて開催します。

一般社団法人 日本家政学会 生活経営学部会

生活経営学部会事務局

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

埼玉大学 教育学部

重川純子研究室内

E-mail: [jshe-frm@jshe-frm.jp](mailto:jshe-frm@jshe-frm.jp)

ホームページ <http://jshe-frm.jp/>

## 趣旨

昨年度の夏期セミナーは、新型コロナウイルス感染拡大により深刻な影響を受けている女性の生活困難の実態に焦点を当て、女性、特に非正規雇用の女性の厳しい雇用状況、困窮するシングルマザー世帯の実態、介護スキルのシェアサービスの実践例を中心に、生活課題の抽出及び課題解決に向けた取組みについて検討を行った。現時点でもなお先行きが不透明なコロナ禍において、引き続きこれまでとは異なる生活様式や社会環境の変化に対する生活経営の再構築が求められており、これらの課題を継続して深める必要性が確認された。

生活経営は、生活の外的条件（労働市場、商品市場、社会保障・社会福祉など）と内部的条件（家事労働、家族関係、生活価値観など）の関係性を明確化・整序化し、生活資源を主体的にマネジメントすることであるが、昨年度のセミナーは、主に生活の外的条件による影響に着目するものであった。

そこで、2022年度の夏期セミナーでは、「生活の力点・生活価値観」「家事・育児」「在宅ワーク」等の変化を通して生活の内部的条件に注目する。基調講演は、筒井淳也氏（立命館大学）に、新型コロナウイルス感染拡大が家庭内領域にどのような影響をもたらしたのか、特に家庭外領域と家庭内領域の位置づけや影響の大きさに焦点を当ててお話しいただく。シンポジウムでは、小玉祐一氏（明治安田総合研究所）に、外出自粛規制中の子育てに関する意識変化等のアンケート調査結果をもとにご報告いただく。森田美佐氏（高知大学）からは、コロナ禍を経験する中、改めてジェンダー平等やワークライフバランスの概念を吟味し、どのように行動につなげていくことができるのかを、生活経営の視点からお話しいただく。生活の枠組みにおける生活の内部的条件に焦点を当て、コロナ禍における生活経営の再構築について検討したい。

## &lt;日 程&gt;

8月26日（金）

9:30~9:35 開会挨拶

生活経営学部会部会長 重川 純子（埼玉大学）

9:35~11:05 自由論題報告

① 長期就業意向の高い人はどのような人か（仮）

大風 薫（京都ノートルダム女子大学）

② シングルマザーの経済的自立 —フリーランスとしての働き方—（仮）

大原 康子（一般社団法人ルータス）

③ 多様性のカードゲーム —台湾「扮家家遊」「不簡單的生活」にみる生活像—（仮）

久木元 真吾（帝京大学）

## 公開セミナー：コロナ禍を通して考える生活経営の再構築

- 11:10~11:15 趣旨説明 粕谷 美砂子（昭和女子大学）
- 11:15~12:20 基調講演  
コロナ下の家庭における生活の変化  
筒井 淳也 氏（立命館大学）
- (休憩)
- 13:15~15:50 シンポジウム  
司会 天野 晴子（日本女子大学）
- 13:15~13:45 「コロナ下における子育て世帯の意識と実態 —アンケート調査をもとに—」  
小玉 祐一 氏（明治安田総合研究所）
- 13:45~14:30 「生活経営から見るジェンダー平等・ワークライフバランス  
—コロナ禍の経験を踏まえて—」  
森田 美佐（高知大学）
- (休憩)
- 14:45~15:05 論点整理 コメンテーター：鈴木 奈穂美（専修大学）
- 15:05~15:50 総括討論・質疑応答
- (休憩)
- 16:00~16:50 総会
- 16:50~17:00 閉会の辞

### 基調講演者

筒井 淳也 氏（立命館大学 教授）

立命館大学産業社会学部教授。専門は家族社会学、計量社会学、女性労働研究。1970年福岡県生まれ。一橋大学社会学部、同大学院社会学研究科博士課程後期課程満期退学、博士（社会学）。

著書に『仕事と家族』（中公新書、2015年、不動産協会賞受賞）、『結婚と家族のこれから』（光文社新書、2016年）、『社会学入門』（共著、有斐閣、2017年）、*Work and Family in Japanese Society*（Springer, 2019年）、『社会を知るためには』（ちくまプリマー新書、2020年）、『社会学：非サイエンス的な知の居場所』（岩波書店、2021年）など。内閣府「第四次少子化社会対策大綱検討委員会」委員、京都市男女共同参画審議会・会長、内閣府「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」構成員等を歴任。